

# 「浪曲と我が人生」

曲師:虹 友美  
作者:山下 孝夫

「葛の葉子別れ物語り」より

## ～和泉信太の白狐伝～

浪曲をつづじて人権についてや、富田出身の講師の人生をお話していただきます。

講師 浪曲師 **天光軒新月**さん

**7月18日(土)**

**午後2時～4時**

**場所:富田ふれあい文化センター**

**■定員 : 80人(申込順)**



### □講師のプロフィール

出身地:大阪府高槻市富田町

12歳で桜川小春(江州音頭)に師事

昭和46年4月三代目天光軒満月の弟子となる

昭和46年7月奈良県五條市市民会館で初舞台「佐渡情話」

昭和46年7月光軒小満月として道頓堀朝日座に出演

昭和49年5月に年期明けて師匠満月の許しを得て

三代目玉川勝太郎師匠の預かり弟子となり東京へ

昭和51年5月まで

昭和51年7月高槻市市民会館で襲名披露、天光軒新月に改名

平成3年4月浪曲「越前竹人形」キングレコード

平成9年6月江州音頭「葛の葉白狐伝」コロムビアレコード

令和元年5月大阪府知事表彰「文化芸術功労者賞」受賞

令和3年4月NHKラジオ放送・新作「和泉信太の白狐伝」発表

令和4年6月NHKラジオ放送・新作「苺萱道心石童丸」発表

代表作「父帰る」「召集令」「二等兵物語」「美しき罪」

浪曲(ろうきょく)とは、明治時代初期から始まった語り物の一つ。「浪曲浪花節」とも言い、三味線を伴奏に用いて物語を語ります。浪花節は、古くから伝わる浄瑠璃や説経節、祭文節などが基礎になって、大道芸として始まりました。その後明治時代初期、大阪の芸人・浪花伊助が新しく売り出した芸が大うけて、演者の名前から「浪花節」と名付けられました。以後、桃中軒雲右衛門や二代目吉田奈良丸の活躍で大正・昭和と全盛を迎えます。

### 無料 要予約

※定員に達し次第、受付終了

**申込方法: 直接窓口、電話・FAX・電子申込**

**7/6(月)～7/17(金) (土曜の午後と日曜を除く)**

**午前9時～午後5時15分まで**

※電子申込は24時間対応

**申込・問合せ先**

**富田ふれあい文化センター**

**(富田町4丁目15-28)**



□手話通訳あり

□保育(要予約):5人

3歳から未就学児

保育申込:7/6(月)～7/10(金)まで

電子申込は上記二次元コードから

**☎ : 072-694-5451 FAX : 072-694-5453**

※駐車場はありません